

# アグレ レポート



人生の報酬は、今から用意する。

# アグレ

働く人の積極型年金

積立型変額年金保険

2025年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



TOKIOMARINE  
NICHIDO

## 東京海上日動あんしん生命

# アグレ レポート 目次

## GWバランス

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用*1	掲載ページ
総合型	GWバランス 1	年金積立グローバル・ラップ・バランス(安定型)	日興アセットマネジメント 【投資助言】 SMBCグローバル・インベストメント&コンサルティング	1.122% (税込)程度	2 P
総合型	GWバランス 2	グローバル・ラップ・バランス安定成長型		1.232% (税込)程度	2 P
総合型	GWバランス 3	グローバル・ラップ・バランス成長型		1.364% (税込)程度	3 P
総合型	GWバランス 4	グローバル・ラップ・バランス積極成長型		1.518% (税込)程度	3 P
総合型	GWバランス 5	グローバル・ラップ・バランス積極型		1.694% (税込)程度	4 P

## インデックスバランス

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用*1	掲載ページ
総合型	インデックスバランス A	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)(DC Aナビ20)	日興アセットマネジメント	0.5885% (税込)程度	5 P
総合型	インデックスバランス B	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)(DC Aナビ40)		0.671% (税込)程度	5 P
総合型	インデックスバランス C	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)(DC Aナビ60)		0.7535% (税込)程度	6 P
総合型	インデックスバランス D	年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)(DC Aナビ80)		0.836% (税込)程度	6 P

## 個別ファンド

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用*1	掲載ページ
総合型	GS グローバルアロケーション	ダ・ヴィンチ	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	2.2% (税込)程度	7 P
株式型	日本株インデックス	インデックスファンドTSP	日興アセットマネジメント	0.572% (税込)程度	8 P
株式型	日興日本株	日興ジャパンオープン(ジバンク)		1.672% (税込)程度*2	9 P
株式型	日本株アクティブ	日興アクティブ・ダイナミクス(投資力学)	日興アセットマネジメント	1.76% (税込)程度*3	10 P
株式型	日本株グロース	利益還元成長株オープン(Jグロース)	日興アセットマネジメント	0.902% (税込)程度*4	11 P
株式型	日本株クオンツ	年金積立クオンツ・アクティブ・ジャパン	日興アセットマネジメント	1.32% (税込)程度	12 P
株式型	日本株エコ	日興エコファンド	日興アセットマネジメント 【投資助言】グッドバンカー	1.65% (税込)程度	13 P
株式型	日本株AB	アバディーン・ジャパン・オープン(メガトレンド)	アバディーン・ジャパン	1.65% (税込)程度	14 P
株式型	BR 日本株	ブラックロック 日本株式オープン	ブラックロック・ジャパン	1.683% (税込)程度	15 P
株式型	フィデリティ日本株	フィデリティ・日本成長株・ファンド	フィデリティ投信	1.683% (税込)程度	16 P
株式型	インターナショナル株式グロース	年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	日興アセットマネジメント 【投資一任】ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	1.98% (税込)程度	17 P
株式型	アライアンス グローバル株式	アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)	アライアンス・バーンスタイン	1.595% (税込)程度	18 P
債券型	日本債券インデックス	インデックスファンド日本債券(1年決算型)	日興アセットマネジメント	0.319% (税込)程度*6	19 P
債券型	インターナショナル債券	年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンド	日興アセットマネジメント 【投資一任】日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	1.32% (税込)程度	20 P
金融市場型	マネー	特に定めません	特に定めません	*5	21 P
金融市場型	米ドル短期	米ドルMMF	日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド	0.8%程度	22 P

特別勘定は主に価格の変動する有価証券に投資を行います。このため、ご契約者は選択した特別勘定の運用状況により高い収益を期待できる一方、証券価格の変動リスクや為替変動による投資リスクを負うことになります。

\*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

\*2 ジバンクについては、前営業日の属する月の前月の最終営業日の基準価額と比較して、①前営業日の基準価額が上回っている場合1.892%(税込)、②前営業日の基準価額が下回っている場合1.452%(税込)、③前営業日の基準価額と同じ場合1.672%(税込)の信託報酬が適用されます。

\*3 2024年9月14日より基準価額騰落率と東証株価指数騰落率の比較により信託報酬率が変動するスキームが廃止となり、資産運用関係費用が1.76%(税込)に変更になりました。

\*4 Jグロースについては、日々の基準価額の前期末基準価額に対する割合(基準価額倍率)によって以下のとおり信託報酬率が変動します。①基準価額倍率が120%以上の場合0.957%(税込)、②基準価額倍率が110%以上~120%未満の場合0.935%(税込)、③基準価額倍率が90%以上~110%未満の場合0.902%(税込)、④基準価額倍率が80%以上~90%未満の場合0.869%(税込)、⑤基準価額倍率が80%未満の場合0.847%(税込)

\*5 金利情勢、投資対象とする短期金融商品によって変動します。

\*6 2024年7月20日より資産運用関係費用が0.495%(税込)程度から、0.319%(税込)程度に変更になりました。

# GWバランス1 (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】 バランス  
【運用方針】

日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、債券の比率を高めにする  
ことで利息収入を重視した運用を行います。株式にもある程度投資し、  
元本の長期的な成長も考慮した運用を行います。

【対象投資信託】 年金積立グローバル・ラップ・バランス (安定型)

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1	1.2%
有価証券等 年金積立グローバル・ラップ・ バランス (安定型)	106	98.8%
その他	—	—
資産合計	107	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	107	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



ユニットプライス	前月比	
2022年 1月31日	139.39	—
2024年 1月31日	146.04	1.33%
2月29日	148.51	1.69%
3月31日	150.42	1.28%
4月30日	148.71	-1.13%
5月31日	149.26	0.37%
6月30日	151.09	1.22%
7月31日	149.65	-0.95%
8月31日	148.44	-0.81%
9月30日	150.16	1.16%
10月31日	150.35	0.12%
11月30日	150.03	-0.21%
12月31日	151.87	1.22%
2025年 1月31日	150.80	-0.70%
3ヶ月変化率	0.30%	
6ヶ月変化率	0.77%	
1年変化率	3.26%	
3年変化率	8.19%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

### 年金積立グローバル・ラップ・バランス (安定型) の基本情報

【運用会社】 日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

基本アセットミックス	ファンド	
日本大型株式	8.00%	10.39%
日本小型株式	6.00%	6.35%
日本債券	60.00%	58.30%
北米株式	10.00%	8.77%
欧州先進国株式	6.00%	5.73%
アジア太平洋株式	2.00%	1.86%
海外債券	8.00%	7.28%
短期資産その他	0.00%	1.33%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

# GWバランス2 (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】 バランス  
【運用方針】

日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、債券の比率をやや高め  
にすることで基本的に安定した利息収入を確保しながら、株式による  
元本の成長もはかります。

【対象投資信託】 グローバル・ラップ・バランス安定成長型

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	781	4.5%
有価証券等 グローバル・ラップ・ バランス安定成長型	16,674	95.5%
その他	—	—
資産合計	17,456	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	17,456	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



ユニットプライス	前月比	
2022年 1月31日	151.38	—
2024年 1月31日	165.33	1.96%
2月29日	168.87	2.14%
3月31日	171.73	1.69%
4月30日	169.96	-1.03%
5月31日	171.35	0.82%
6月30日	173.96	1.53%
7月31日	171.76	-1.27%
8月31日	169.74	-1.17%
9月30日	172.04	1.35%
10月31日	172.64	0.35%
11月30日	172.23	-0.24%
12月31日	174.81	1.50%
2025年 1月31日	173.54	-0.73%
3ヶ月変化率	0.52%	
6ヶ月変化率	1.04%	
1年変化率	4.96%	
3年変化率	14.64%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

### グローバル・ラップ・バランス安定成長型の基本情報

【運用会社】 日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

基本アセットミックス	ファンド	
日本大型株式	12.00%	14.44%
日本小型株式	7.00%	6.58%
日本債券	51.00%	48.19%
北米株式	12.00%	11.08%
欧州先進国株式	7.00%	8.28%
アジア太平洋株式	2.00%	2.75%
海外債券	9.00%	7.90%
短期資産その他	0.00%	0.78%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# GWバランス3 (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
 【資産分類】 バランス  
 【運用方針】  
 日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、株式・債券の比率をほぼ均等にすることで、利息収入の確保と元本部分の成長のバランスをとった運用を行います。  
 【対象投資信託】 グローバル・ラップ・バランス成長型

### ■特別勘定 純資産総額の内訳 (単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	767	4.0%
有価証券等		
グローバル・ラップ・ バランス成長型	18,490	96.0%
その他	—	—
資産合計	19,258	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	19,258	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



年月日	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	165.45	—
2024年 1月31日	187.72	2.61%
2月29日	192.65	2.63%
3月31日	196.69	2.09%
4月30日	194.84	-0.94%
5月31日	197.32	1.27%
6月30日	201.07	1.90%
7月31日	197.85	-1.60%
8月31日	194.95	-1.47%
9月30日	198.20	1.67%
10月31日	199.36	0.59%
11月30日	199.10	-0.13%
12月31日	202.79	1.85%
2025年 1月31日	201.18	-0.80%
3ヶ月変化率		0.91%
6ヶ月変化率		1.68%
1年変化率		7.17%
3年変化率		21.59%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

### グローバル・ラップ・バランス成長型の基本情報

【運用会社】 日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	15.00%	17.98%
日本小型株式	7.00%	7.66%
日本債券	40.00%	36.82%
北米株式	15.00%	13.63%
欧州先進国株式	10.00%	10.44%
アジア太平洋株式	3.00%	3.67%
海外債券	10.00%	8.71%
短期資産その他	0.00%	1.09%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

# GWバランス4 (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
 【資産分類】 バランス  
 【運用方針】  
 日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、株式比率を高めることで元本の成長を重視した運用を行う一方、債券からの安定的な利息収入の確保も目指します。  
 【対象投資信託】 グローバル・ラップ・バランス積極成長型

### ■特別勘定 純資産総額の内訳 (単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	611	3.1%
有価証券等		
グローバル・ラップ・ バランス積極成長型	18,855	96.9%
その他	—	—
資産合計	19,466	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	19,466	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



年月日	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	195.22	—
2024年 1月31日	238.06	3.76%
2月29日	246.29	3.46%
3月31日	253.27	2.83%
4月30日	251.28	-0.79%
5月31日	256.41	2.04%
6月30日	262.86	2.51%
7月31日	257.27	-2.13%
8月31日	251.46	-2.26%
9月30日	256.76	2.11%
10月31日	259.34	1.01%
11月30日	259.08	-0.10%
12月31日	265.59	2.51%
2025年 1月31日	263.21	-0.89%
3ヶ月変化率		1.49%
6ヶ月変化率		2.31%
1年変化率		10.56%
3年変化率		34.83%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

### グローバル・ラップ・バランス積極成長型の基本情報

【運用会社】 日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
日本大型株式	21.00%	25.11%
日本小型株式	8.00%	8.89%
日本債券	21.00%	17.80%
北米株式	20.00%	17.50%
欧州先進国株式	14.00%	14.87%
アジア太平洋株式	4.00%	4.53%
海外債券	12.00%	10.28%
短期資産その他	0.00%	1.02%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# GWバランス5 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】バランス

【運用方針】

日本を含む世界の株式・債券に分散投資し、株式投資比率、海外投資比率を高めにし長期的な元本の成長を積極的に目指します。

【対象投資信託】グローバル・ラップ・バランス積極型

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,534	2.8%
有価証券等		
グローバル・ラップ・ バランス積極型	53,731	97.2%
その他	—	—
資産合計	55,266	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	55,266	100.0%

### ユニットプライスの推移



ユニットプライス	前月比	
2022年 1月31日	206.17	—
2024年 1月31日	266.70	4.79%
2月29日	277.76	4.15%
3月31日	287.25	3.42%
4月30日	285.35	-0.66%
5月31日	293.10	2.72%
6月30日	302.12	3.08%
7月31日	294.12	-2.65%
8月31日	285.98	-2.77%
9月30日	293.06	2.48%
10月31日	296.73	1.25%
11月30日	296.54	-0.06%
12月31日	305.16	2.91%
2025年 1月31日	302.22	-0.97%
3ヶ月変化率	1.85%	
6ヶ月変化率	2.75%	
1年変化率	13.31%	
3年変化率	46.59%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 対象投資信託について

### グローバル・ラップ・バランス積極型の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

### 資産構成 (2025.1末現在)

基本アセットミックス	ファンド	
日本大型株式	26.00%	31.15%
日本小型株式	9.00%	10.01%
日本債券	5.00%	1.45%
北米株式	23.00%	20.74%
欧州先進国株式	17.00%	18.67%
アジア太平洋株式	6.00%	6.38%
海外債券	14.00%	10.73%
短期資産その他	0.00%	0.87%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の基準価額等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# インデックスバランスA (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】 バランス

【運用方針】

日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は20%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。

【対象投資信託】

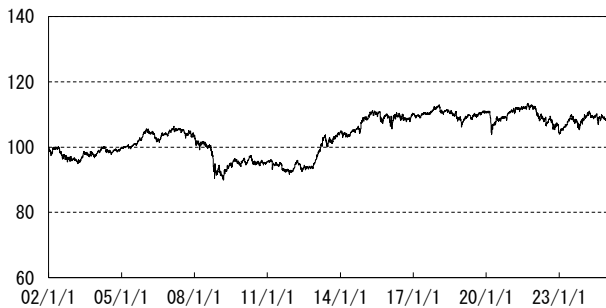
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)(DC Aナビ20)

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	381	4.6%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)(DC Aナビ20)	7,943	95.4%
その他	—	—
資産合計	8,325	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	8,325	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



ユニットプライス	前月比	
2022年 1月31日	109.92	—
2024年 1月31日	109.10	0.48%
2月29日	110.23	1.04%
3月31日	110.94	0.65%
4月30日	109.03	-1.73%
5月31日	108.62	-0.37%
6月30日	109.20	0.53%
7月31日	109.00	-0.18%
8月31日	109.08	0.07%
9月30日	109.90	0.76%
10月31日	109.12	-0.71%
11月30日	108.44	-0.62%
12月31日	109.06	0.58%
2025年 1月31日	108.34	-0.66%
3ヶ月変化率	—	-0.71%
6ヶ月変化率	—	-0.61%
1年変化率	—	-0.69%
3年変化率	—	-1.44%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)(DC Aナビ20)の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	15.00%	15.31%
国内債券	65.00%	64.48%
外国株式	5.00%	5.04%
外国債券	10.00%	9.80%
短期資産	5.00%	5.36%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

# インデックスバランスB (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】 バランス

【運用方針】

日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は40%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。

【対象投資信託】

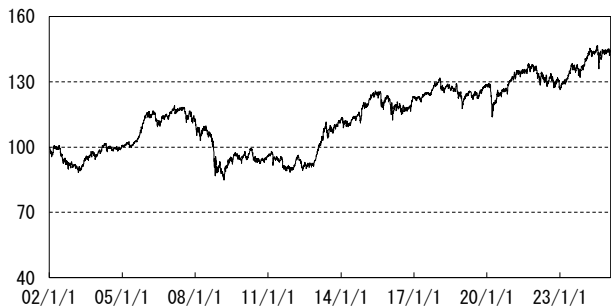
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)(DC Aナビ40)

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	251	3.5%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)(DC Aナビ40)	7,033	96.5%
その他	—	—
資産合計	7,285	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	7,285	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



ユニットプライス	前月比	
2022年 1月31日	132.15	—
2024年 1月31日	140.18	1.86%
2月29日	143.02	2.03%
3月31日	145.00	1.38%
4月30日	142.27	-1.88%
5月31日	142.69	0.30%
6月30日	144.28	1.11%
7月31日	143.44	-0.58%
8月31日	143.17	-0.18%
9月30日	144.90	1.20%
10月31日	144.03	-0.60%
11月30日	143.28	-0.52%
12月31日	145.21	1.34%
2025年 1月31日	144.21	-0.69%
3ヶ月変化率	—	0.13%
6ヶ月変化率	—	0.54%
1年変化率	—	2.87%
3年変化率	—	9.12%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式40)(DC Aナビ40)の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	30.00%	30.65%
国内債券	45.00%	44.20%
外国株式	10.00%	10.21%
外国債券	10.00%	9.72%
短期資産	5.00%	5.21%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# インデックスバランスC (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】 バランス  
【運用方針】  
日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は60%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。  
【対象投資信託】  
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)(DC Aナビ60)

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	105	3.5%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)(DC Aナビ60)	2,874	96.5%
その他	—	—
資産合計	2,979	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,979	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	146.72	—
2024年 1月31日	166.91	3.18%
2月29日	171.80	2.93%
3月31日	175.44	2.12%
4月30日	171.92	-2.01%
5月31日	173.56	0.96%
6月30日	176.49	1.68%
7月31日	174.69	-1.02%
8月31日	172.72	-1.13%
9月30日	175.60	1.67%
10月31日	174.73	-0.49%
11月30日	174.00	-0.42%
12月31日	177.63	2.09%
2025年 1月31日	176.37	-0.71%
3ヶ月変化率		0.94%
6ヶ月変化率		0.96%
1年変化率		5.67%
3年変化率		20.20%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)(DC Aナビ60)の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	45.00%	45.52%
国内債券	25.00%	24.57%
外国株式	15.00%	14.98%
外国債券	10.00%	9.71%
短期資産	5.00%	5.23%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

# インデックスバランスD (2025年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】 バランス  
【運用方針】  
日本を含む世界の株式・債券に分散投資いたします。株式の組入は80%を標準とし、中長期的な資産の成長を目指します。  
【対象投資信託】  
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)(DC Aナビ80)

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,498	3.3%
有価証券等		
年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)(DC Aナビ80)	43,578	96.7%
その他	—	—
資産合計	45,076	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	45,076	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	164.03	—
2024年 1月31日	200.08	4.57%
2月29日	208.10	4.01%
3月31日	214.00	2.83%
4月30日	209.46	-2.12%
5月31日	212.78	1.59%
6月30日	217.54	2.24%
7月31日	214.34	-1.47%
8月31日	211.03	-1.55%
9月30日	215.46	2.10%
10月31日	214.63	-0.38%
11月30日	213.98	-0.31%
12月31日	220.10	2.86%
2025年 1月31日	218.49	-0.73%
3ヶ月変化率		1.80%
6ヶ月変化率		1.93%
1年変化率		9.20%
3年変化率		33.20%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 対象投資信託について

年金積立 アセット・ナビゲーション・ファンド(株式80)(DC Aナビ80)の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

### ■資産構成 (2025.1末現在)

	基本アセットミックス	ファンド
国内株式	60.00%	60.27%
国内債券	5.00%	4.91%
外国株式	20.00%	19.97%
外国債券	10.00%	9.69%
短期資産	5.00%	5.16%
合計	100.00%	100.00%

※構成比は純資産総額に対する割合

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# GSグローバルアロケーション (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2002年1月1日  
【資産分類】 バランス  
【運用方針】  
日本を含む世界の株式、債券、円短期金融商品を主要投資対象とし、独自の計量モデルによるアクティブ運用を行い、長期的に安定した運用成果を目指します。為替はフルヘッジいたします。  
【対象投資信託】  
ダ・ヴィンチ

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	96.93	-
2024年 1月31日	88.59	0.23%
2月29日	89.22	0.71%
3月31日	91.21	2.23%
4月30日	88.54	-2.93%
5月31日	89.32	0.89%
6月30日	89.78	0.51%
7月31日	90.06	0.31%
8月31日	90.25	0.21%
9月30日	91.49	1.37%
10月31日	89.98	-1.65%
11月30日	91.05	1.18%
12月31日	90.23	-0.90%
2025年 1月31日	90.36	0.15%
3ヶ月変化率		0.42%
6ヶ月変化率		0.34%
1年変化率		2.00%
3年変化率		-6.77%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	294	3.7%
有価証券等		
ダ・ヴィンチ	7,569	96.3%
その他	-	-
資産合計	7,864	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	7,864	100.0%

## 対象投資信託について

### ダ・ヴィンチの基本情報

【運用会社】 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント  
【運用対象】 日本を含む世界各国の株式・債券および円短期金融商品を主要投資対象とします。(株式先物・債券先物取引等を含みます。)  
【ベンチマーク】 MSCIワールド・インデックス40%+JPモルガン・ガバメントボンド・インデックス(グローバル)40%(ともに100%為替円ヘッジ、円ベース)+日本円1か月TIBOR20%

### 運用状況

#### ■資産構成 (2025.1末現在)

	構成比
世界株式	45.8%
世界債券	8.8%
円短期金融商品	45.4%
合計	100.0%

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### <資産クラス間配分>

資産クラス間配分では、世界株式はモメンタムの観点で評価が高いことから、円短期金融商品に対して強気の見通しとしている。世界債券はモメンタムの観点で評価が低いことから、円短期金融商品に対して弱気の見通しとしている。大型株/小型株の配分に関しては、大型株に対してやや弱気の見通しとしている。大型株はモメンタムの観点で評価が低いことからやや弱気の見通しとしている。一般優良株/テクノロジー株間の配分に関しては、モメンタムの観点からテクノロジー株に対してやや弱気の見通しとしている。

##### <株式国別配分>

株式国別配分においては、スペインやドイツに対して強気の見通しとする一方で、アメリカやイタリアに対して弱気の見通しとしている。スペインに対しては、リスクプレミアムおよびバリュアの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。ドイツに対しては、モメンタムおよびバリュアの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、アメリカに対しては、バリュアおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。イタリアに対しては、リスクプレミアムおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

##### <債券国別配分>

債券国別配分においては、フランスやカナダに対して強気の見通しとする一方で、ドイツやオーストラリアに対して弱気の見通しとしている。フランスに対しては、マクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。カナダに対しては、モメンタムおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、ドイツに対しては、マクロおよびモメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。オーストラリアに対しては、モメンタムの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

##### <通貨配分>

通貨配分においては、アメリカや日本に対して強気の見通しとする一方で、イギリスやユーロ圏に対して弱気の見通しとしている。アメリカに対しては、バリュアおよびマクロの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。日本に対しては、ファンダフローおよびバリュアの観点で評価が高いことから強気の見通しとしている。一方、イギリスに対しては、バリュアおよびマクロの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。ユーロ圏に対しては、ファンダフローおよびバリュアの観点で評価が低いことから弱気の見通しとしている。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# 日本株インデックス (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
TOPIX（東証株価指数）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。  
【対象投資信託】  
インデックスファンドTSP

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3,820	3.0%
有価証券等		
インデックスファンドTSP	123,486	97.0%
その他	—	—
資産合計	127,307	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	127,307	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	164.41	—
2024年 1月31日	221.59	6.56%
2月29日	234.09	5.64%
3月31日	242.40	3.55%
4月30日	236.60	-2.39%
5月31日	239.76	1.34%
6月30日	245.37	2.34%
7月31日	241.63	-1.52%
8月31日	236.29	-2.21%
9月30日	242.31	2.55%
10月31日	238.45	-1.60%
11月30日	236.70	-0.73%
12月31日	246.31	4.06%
2025年 1月31日	244.18	-0.86%
3ヶ月変化率		2.40%
6ヶ月変化率		1.06%
1年変化率		10.20%
3年変化率		48.52%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 対象投資信託について

### インデックスファンドTSPの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

### 運用状況

#### 資産構成比 (2025.1末現在)

資産	構成比
株式	100.0%
(うち先物)	1.4%
C B	0.0%
公社債	0.0%
現金その他	1.4%
外貨建資産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### 株式組入上位5業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	17.8%
2 銀行業	9.1%
3 情報・通信業	7.6%
4 輸送用機器	7.6%
5 卸売業	6.5%

※構成比はマザーファンド組入株式時価総額に対する割合

#### 株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.96%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.13%
3 ソニーグループ	電気機器	2.97%
4 日立製作所	電気機器	2.57%
5 リクルートホールディングス	サービス業	2.20%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.99%
7 キーエンス	電気機器	1.69%
8 任天堂	その他製品	1.62%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.44%
10 東京エレクトロン	電気機器	1.39%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 1,683)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### 〈市場環境〉

1月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス0.13%、日経平均株価が同マイナス0.81%となりました。米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や、日銀総裁の発言を受けて日銀による利上げの継続が意識され円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金（IMF）が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見直しを引き上げたことや、米国新大統領が米国の人工知能（AI）開発に向けた巨額の投資計画を発表し半導体関連などのハイテク株が上昇したことなどが株価の支援材料となり、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。

東証33業種分類では、証券、商品先物取引業、その他製品、銀行業などの17業種が上昇する一方で、海運業、電気・ガス業、卸売業などの16業種が下落しました。

##### 〈運用概況〉

当ファンドはTOPIX（東証株価指数）配当込みに関連した投資成果をめざすファンドです。実際の運用は、「インデックス マザーファンド TOPIX」受益証券を高比率に組入れ、株式先物を利用して実質株式組入比率を100%程度で推移させています。「インデックス マザーファンド TOPIX」では、「バーラ 日本株式モデル」を使用して1,700銘柄程度に投資し、TOPIX（東証株価指数）配当込みへの運動性の高いポートフォリオを構築するとともに、株式先物を利用して実質の株式組入比率を100%程度で推移させています。

1月における当ファンドの基準価額は、TOPIX（東証株価指数）配当込みの0.14%の上昇に対し、0.09%の上昇となりました。今後ともこれまでの運用方針を継続し、TOPIX（東証株価指数）配当込みに関連した投資成果を目指します。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することとなります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
 【資産分類】日本株式  
 【運用方針】  
 日本の上場および店頭公開企業に投資し、中長期的な観点から、ベンチマークの動きを上回る投資成果を目指します。チームによる個別企業調査をベースに、幅広く収益を追求します。  
 【対象投資信託】  
 日興ジャパンオープン（ジパング）

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	193.30	-
2024年 1月31日	243.60	7.04%
2月29日	257.76	5.82%
3月31日	269.31	4.48%
4月30日	261.41	-2.93%
5月31日	265.52	1.57%
6月30日	272.76	2.73%
7月31日	266.88	-2.16%
8月31日	259.05	-2.93%
9月30日	265.59	2.52%
10月31日	260.00	-2.10%
11月30日	258.44	-0.60%
12月31日	269.43	4.25%
2025年 1月31日	266.58	-1.06%
3ヶ月変化率		2.53%
6ヶ月変化率		-0.11%
1年変化率		9.43%
3年変化率		37.91%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	29	2.7%
有価証券等		
日興ジャパンオープン（ジパング）	1,052	97.3%
その他	-	-
資産合計	1,081	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,081	100.0%

## 対象投資信託について

### 日興ジャパンオープン（ジパング）の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント  
 【運用対象】日本株式  
 【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）配当込み\*

\*2024年5月22日付でTOPIX（東証株価指数）からTOPIX（東証株価指数）配当込み、に変更となりました。なお、本変更に伴う特別勘定の運用方針の変更はありません。

### 運用状況

#### ■株式組入上位10業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	18.49%
2 銀行業	11.45%
3 機械	10.21%
4 情報・通信業	8.20%
5 化学	7.14%
6 建設業	5.86%
7 小売業	5.51%
8 卸売業	5.20%
9 精密機器	4.85%
10 輸送用機器	3.21%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.13%
2 日立製作所	電気機器	4.09%
3 ソニーグループ	電気機器	3.54%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.12%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.11%
6 三菱重工業	機械	2.60%
7 信越化学工業	化学	2.57%
8 リクルートホールディングス	サービス業	2.55%
9 HOYA	精密機器	2.50%
10 東京海上ホールディングス	保険業	2.33%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 80）

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### 〈市場環境〉

1月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス0.13%、日経平均株価が同マイナス0.81%となりました。米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や、日銀総裁の発言を受けて日銀による利上げの継続が意識され円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金（IMF）が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見通しを引き上げたことや、米国新大統領が米国の人工知能（AI）開発に向けた巨額の投資計画を発表し半導体関連などのハイテク株が上昇したことなどが株価の支援材料となり、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。東証33業種分類では、証券、商品先物取引業、その他製品、銀行業などの17業種が上昇する一方で、海運業、電気・ガス業、卸売業などの16業種が下落しました。

##### 〈運用概況〉

当ファンドでは、成長分野での高い競争力や事業再編効果などによって、今後の業績拡大が期待できる企業の選別を進め、株価の割安性も重視した運用を行いました。中期的な観点から、世界で高いシェアを持つ企業や、事業構造改革による業績拡大が見込まれる企業、産業構造の変化を捉えて成長することが期待できる企業などに重点を置いた運用を行っています。今月の主な投資行動としては、株価の調整が進み割安感が強まった小売、機械、非鉄金属などの関連企業を買い付け一方で、当面の業績モメンタムが見劣りする見通しとなった自動車、医薬品などの関連企業を一部売却するリバランスを行いました。このような運用の結果、当月末における当ファンドのリターンは前月末比でプラスとなり、TOPIX（配当込み）を若干上回りました。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株アクティブ (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
主として日本の上場および店頭公開企業の株式に投資を行います。投資機会を柔軟に捉え、あらゆる市場局面においてベンチマークを上回る投資成果を目指します。  
【対象投資信託】  
日興アクティブ・ダイナミクス(投資力学)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	118.70	-
2024年 1月31日	162.91	0.45%
2月29日	172.17	5.68%
3月31日	177.27	2.96%
4月30日	174.31	-1.67%
5月31日	172.12	-1.26%
6月30日	177.12	2.91%
7月31日	172.45	-2.64%
8月31日	168.32	-2.39%
9月30日	178.57	6.09%
10月31日	175.55	-1.69%
11月30日	177.15	0.91%
12月31日	184.77	4.30%
2025年 1月31日	181.01	-2.03%
3ヶ月変化率		3.11%
6ヶ月変化率		4.97%
1年変化率		11.11%
3年変化率		52.49%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	65	3.6%
有価証券等		
日興アクティブ・ダイナミクス (投資力学)	1,721	96.4%
その他	-	-
資産合計	1,786	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,786	100.0%

## 対象投資信託について

### 日興アクティブ・ダイナミクス (投資力学) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX (東証株価指数) 配当込み\*

\*2024年9月14日付でTOPIX (東証株価指数) からTOPIX (東証株価指数) 配当込み、に変更となりました。なお、本変更に伴う特別勘定の運用方針の変更はありません。

### 運用状況

#### ■資産構成比 (2025.1末現在)

	構成比
株式	98.7%
(うち先物)	0.0%
現金その他	1.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位5業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 輸送用機器	15.9%
2 銀行業	11.0%
3 機械	10.3%
4 電気機器	9.2%
5 不動産業	8.1%

※構成比はマザーファンドの組入株式時価総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	構成比
1 豊田合成	輸送用機器	5.24%
2 アイシン	輸送用機器	5.18%
3 トヨタ自動車	輸送用機器	5.04%
4 りそなホールディングス	銀行業	4.26%
5 東急不動産ホールディングス	不動産業	4.20%
6 プリチストン	ゴム製品	4.01%
7 三井不動産	不動産業	3.45%
8 関西電力	電気・ガス業	3.01%
9 住信SBIネット銀行	銀行業	3.00%
10 楽天銀行	銀行業	2.95%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 150)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### 〈市場環境〉

1月の国内株式市場は、東証株価指数 (TOPIX) が前月末比プラス0.13%、日経平均株価が同マイナス0.81%となりました。米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や、日銀総裁の発言を受けて日銀による利上げの継続が意識され円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金 (IMF) が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見通しを引き上げたことや、米国新大統領が米国の人工知能 (AI) 開発に向けた巨額の投資計画を発表し半導体関連などのハイテク株が上昇したことなどが株価の支援材料となり、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。東証33業種分類では、証券、商品先物取引業、その他製品、銀行業などの17業種が上昇する一方で、海運業、電気・ガス業、卸売業などの16業種が下落しました。

##### 〈運用概況〉

今月の主な投資行動につきましては、相対比較でより割安感の強い業績改善傾向が見られる銘柄などの新規購入、業績モメンタムが鈍化する懸念のある銘柄のウェイトダウンを行いました。卸売業株のアンダーウェイトやゴム製品株のオーバーウェイトなどがプラスに寄与したものの、輸送用機器株や電気・ガス業株のオーバーウェイトなどがマイナスに寄与したことから、-1.11%のアンダーパフォーマンスとなりました。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株グロース (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
成長性が高く、株主への利益還元が期待できる株式を中心に投資を行い、信託財産の成長をはかることを目標にアクティブ運用を行います。  
【対象投資信託】  
利益還元成長株オープン(Jグロース)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	238.44	-
2024年 1月31日	299.71	5.15%
2月29日	319.47	6.59%
3月31日	331.18	3.67%
4月30日	318.46	-3.84%
5月31日	325.79	2.30%
6月30日	336.32	3.23%
7月31日	327.13	-2.73%
8月31日	322.14	-1.52%
9月30日	329.65	2.33%
10月31日	325.50	-1.26%
11月30日	321.90	-1.11%
12月31日	336.12	4.42%
2025年 1月31日	331.68	-1.32%
3ヶ月変化率		1.90%
6ヶ月変化率		1.39%
1年変化率		10.66%
3年変化率		39.10%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	539	3.0%
有価証券等		
利益還元成長株オープン (Jグロース)	17,381	97.0%
その他	-	-
資産合計	17,920	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	17,920	100.0%

## 対象投資信託について

### 利益還元成長株オープン (Jグロース) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX (東証株価指数) 配当込み

### 運用状況

#### ■株式組入上位10業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	18.34%
2 銀行業	9.49%
3 機械	7.67%
4 情報・通信業	7.12%
5 卸売業	6.62%
6 精密機器	5.62%
7 小売業	5.15%
8 サービス業	4.38%
9 化学	4.12%
10 輸送用機器	3.92%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	構成比
1 日立製作所	電気機器	4.24%
2 ソニーグループ	電気機器	3.24%
3 トヨタ自動車	輸送用機器	2.75%
4 アシックス	その他製品	2.73%
5 三菱重工業	機械	2.65%
6 リクルートホールディングス	サービス業	2.47%
7 キーエンス	電気機器	2.39%
8 信越化学工業	化学	2.37%
9 HOYA	精密機器	2.37%
10 三井物産	卸売業	2.35%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 100)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### 〈市場環境〉

1月の国内株式市場は、東証株価指数 (TOPIX) が前月末比プラス0.13%、日経平均株価が同マイナス0.81%となりました。米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や、日銀総裁の発言を受けて日銀による利上げの継続が意識され円高、アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金 (IMF) が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見通しを引き上げたことや、米国新大統領が米国の人工知能 (AI) 開発に向けた巨額の投資計画を発表し半導体関連などのハイテク株が上昇したことなどが株価の支援材料となり、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。東証33業種分類では、証券、商品先物取引業、その他製品、銀行業などの17業種が上昇する一方で、海運業、電気・ガス業、卸売業などの16業種が下落しました。

##### 〈運用概況〉

当ファンドでは、独自の製品やビジネスノウハウによって持続的な成長を遂げることができる企業に引き続き注目するとともに、景況感の改善が続き、企業業績も底堅いという良好な日本株の投資環境を考慮した運用を行いました。今月は、新規に組み入れた銘柄はありませんでしたが、既保有銘柄では、非鉄金属株、情報・通信株、卸売株などの一部をウェイトアップしました。一方で、業種内の相対評価において、今後の業績モメンタムの鈍化が懸念される建設株、小売株、不動産株、サービス株などの銘柄を全売却しました。当ファンドの基準価額は、海運株、鉱業株などのオーバーウェイトや、証券株などのアンダーウェイトなどがマイナス寄与したことからTOPIX (配当込み) の上昇率を下回りました。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株クオンツ

(2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の上場株式を中心に投資し、クオンツ（計量）運用で、幅広い個別銘柄からの超過リターンを積み上げることにより、中長期的にベンチマークを上回る元本の成長を目指します。  
【対象投資信託】  
年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパン

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,002	2.8%
有価証券等		
年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパン	35,413	97.2%
その他	—	—
資産合計	36,415	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	36,415	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	189.17	—
2024年 1月31日	267.30	6.80%
2月29日	281.26	5.22%
3月31日	291.35	3.59%
4月30日	284.45	-2.37%
5月31日	286.57	0.75%
6月30日	294.18	2.65%
7月31日	291.58	-0.88%
8月31日	284.70	-2.36%
9月30日	294.66	3.50%
10月31日	290.14	-1.53%
11月30日	288.89	-0.43%
12月31日	303.03	4.90%
2025年 1月31日	302.44	-0.20%
3ヶ月変化率		4.24%
6ヶ月変化率		3.72%
1年変化率		13.15%
3年変化率		59.88%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 対象投資信託について

### 年金積立 クオンツ・アクティブ・ジャパンの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

### 運用状況

#### ■株式組入上位5業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.36%
2 銀行業	10.34%
3 情報・通信業	7.87%
4 輸送用機器	7.27%
5 機械	5.63%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	4.76%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.65%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.99%
4 KDDI	情報・通信業	2.79%
5 本田技研工業	輸送用機器	2.55%
6 MS&ADインシュアランスグループホールディングス	保険業	2.44%
7 ダイキン工業	機械	2.37%
8 村田製作所	電気機器	2.36%
9 野村ホールディングス	証券、商品先物取引業	2.34%
10 東京エレクトロン	電気機器	2.22%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 248）

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

##### 〈市場環境〉

1月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス0.13%、日経平均株価が同マイナス0.81%となりました。米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や、日銀総裁の発言を受けて日銀による利上げの継続が意識され円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金（IMF）が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見通しを引き上げたことや、米国新大統領が米国の人工知能（AI）開発に向けた巨額の投資計画を発表し半導体関連などのハイテク株が上昇したことなどが株価の支援材料となり、国内株式市場はまちまちの動きとなりました。

東証33業種分類では、証券、商品先物取引業、その他製品、銀行業などの17業種が上昇する一方で、海運業、電気・ガス業、卸売業などの16業種が下落しました。

##### 〈運用概況〉

1月の当ファンドはベンチマークに対して堅調なパフォーマンスとなりました。リスクインデックスのうち、プラスのエクスポージャーをとっていたバリュエはプラスに寄与しましたが、益回りはマイナスに影響しました。また、個別銘柄選択効果はプラスに寄与しました。1月末時点では、株式の組入比率はほぼフルインベストの状態となっています。また、益回り、バリュエのエクスポージャーがプラスに大きくなっています。

##### 〈今後の見通し〉

運用にあたっては、引き続き定量モデルを用いて個別銘柄の魅力度を測定し、最適化モデルによりリスクコントロールを行ないながらポートフォリオを構築することで超過収益の獲得をめざします。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】2002年1月1日
- 【資産分類】日本株式
- 【運用方針】  
日本の株式のなかから、環境問題への対応が優れている企業および環境に関連する事業を行っており、且つ成長性のある企業の株式を中心に投資し、中長期的な投資収益を目指します。
- 【対象投資信託】  
日興エコファンド

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	134.30	-
2024年 1月31日	171.30	6.08%
2月29日	183.39	7.06%
3月31日	191.24	4.28%
4月30日	184.91	-3.31%
5月31日	187.91	1.62%
6月30日	193.51	2.98%
7月31日	190.50	-1.56%
8月31日	185.71	-2.52%
9月30日	190.60	2.64%
10月31日	187.99	-1.37%
11月30日	186.74	-0.67%
12月31日	195.31	4.59%
2025年 1月31日	192.36	-1.51%
3ヶ月変化率		2.32%
6ヶ月変化率		0.98%
1年変化率		12.29%
3年変化率		43.23%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	283	2.8%
有価証券等		
日興エコファンド	10,405	101.4%
その他	-	-
資産合計	10,688	104.2%
負債合計	430	4.2%
純資産総額	10,258	100.0%

## 対象投資信託について

### 日興エコファンドの基本情報

- 【運用会社】日興アセットマネジメント  
(投資助言) グッドバンク
- 【運用対象】日本株式
- 【ベンチマーク】TOPIX (東証株価指数) 配当込み\*

\*2024年5月22日付でTOPIX (東証株価指数) からTOPIX (東証株価指数) 配当込み、に変更となりました。なお、本変更に伴う特別勘定の運用方針の変更はありません。

### 運用状況

#### ■株式組入上位10業種 (2025.1月末現在)

業種	構成比
1 電気機器	18.26%
2 銀行業	10.27%
3 情報・通信業	6.86%
4 小売業	6.37%
5 輸送用機器	6.00%
6 化学	5.74%
7 卸売業	5.51%
8 サービス業	4.90%
9 機械	4.81%
10 医薬品	3.72%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1月末現在)

銘柄	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.87%
2 日立製作所	電気機器	3.67%
3 ソニーグループ	電気機器	3.64%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.14%
5 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.07%
6 リクルートホールディングス	サービス業	2.58%
7 伊藤忠商事	卸売業	2.40%
8 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.27%
9 三菱重工業	機械	2.17%
10 東京エレクトロン	電気機器	2.15%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 117)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1月末現在)

##### (運用概況)

1月の国内株式市場は、米国新政権の保護主義的な政策を巡る不透明感や、日銀総裁の発言を受けて日銀による利上げの継続が意識され円高/アメリカドル安が進行したことなどが株価の重しとなる一方、国際通貨基金 (IMF) が米国経済の強さを背景に2025年の世界経済成長率の見通しを引き上げたことや、米国大統領が米国の人工知能 (AI) 開発に向けた巨額の投資計画を発表し半導体関連などのハイテク株が上昇したことなどが株価の支援材料となりました。東証株価指数 (TOPIX) は前月末比プラス0.13%となりました。当ファンドでは、経営戦略における環境の位置づけ、製造工程における環境負荷低減策、製品やサービスによる環境への貢献など、環境対策への取り組みが進んでいる企業から銘柄を選別しています。今月はITサービス株を買い増す一方、化学株を売却するなどの投資行動を行いました。基準価額は、一部の小売株の株価パフォーマンスが好調だった一方、電子部品株の株価パフォーマンスが軟調だったことなどによりTOPIXを下回りました。(今後の見通し)  
1月下旬に米国で新大統領が就任しました。選挙時に掲げられていた関税や移民政策など、様々な点で変化が起こる可能性があり、引き続き国内外の政治情勢に注目するとともに、それらの政策が物価・景気に与える影響・金融政策の方向性などを引き続き注視してまいります。実体経済面では、インフレによる実質所得へのマイナスの影響や中国経済の景気減速懸念に加え、自動車や産業機械などの分野において需要の伸び悩みや在庫調整がみられます。他方、人工知能 (AI) に関連する世界的な半導体やそれに関連する設備・インフラ投資需要の高まりは引き続き顕在化しており、分野ごとに景況感に差が出ている状況です。実際に企業業績では、同一の業種内であっても企業間で業績格差が生じるケースが確認されています。今後も外部環境の変化への対応力や経営トップのマネジメント力などの違いによる二極化が継続すると想定しています。このような状況認識の下、環境対策への取り組みが進んでいる企業への投資と適切なリスク管理によって、パフォーマンスを積み重ねてまいります。

- ・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
- ・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
- ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
- ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の上場株式および店頭公開企業を主要投資対象とし、長期的な信託財産の成長を目指します。グローバルな視点に立ってわが国の株式市場の大きな流れを捉え、個別銘柄を厳選しアクティブ運用を行います。  
【対象投資信託】  
アバディーン・ジャパン・オープン（メガトレンド）

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	119.80	-
2024年 1月31日	140.51	6.72%
2月29日	148.52	5.70%
3月31日	154.12	3.77%
4月30日	148.80	-3.45%
5月31日	151.42	1.76%
6月30日	156.64	3.44%
7月31日	152.47	-2.66%
8月31日	150.40	-1.36%
9月30日	154.18	2.51%
10月31日	151.23	-1.91%
11月30日	149.69	-1.02%
12月31日	155.51	3.89%
2025年 1月31日	152.39	-2.01%
3ヶ月変化率		0.77%
6ヶ月変化率		-0.05%
1年変化率		8.45%
3年変化率		27.21%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	99	2.5%
有価証券等		
アバディーン・ジャパン・オープン（メガトレンド）	4,440	109.2%
その他	-	-
資産合計	4,539	111.7%
負債合計	475	11.7%
純資産総額	4,064	100.0%

## 対象投資信託について

### アバディーン・ジャパン・オープン（メガトレンド）の基本情報

【運用会社】アバディーン・ジャパン  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX（東証株価指数）

### 運用状況

#### ■株式組入上位5業種 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	26.3%
2 小売業	7.9%
3 サービス業	6.2%
4 銀行業	5.9%
5 化学	5.7%

※構成比は純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.4%
2 日立製作所	電気機器	5.0%
3 ソニーグループ	電気機器	4.6%
4 リクルートホールディングス	サービス業	3.9%
5 東京海上ホールディングス	保険業	3.8%
6 住友電気工業	非鉄金属	3.2%
7 トヨタ自動車	輸送用機器	3.1%
8 日本電気	電気機器	3.1%
9 パン・パシフィック・インターナショナルHD	小売業	3.0%
10 アドバンテスト	電気機器	2.1%

※構成比は純資産総額に対する割合 (銘柄数 73)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の日本株式市場は、米国の関税政策に対する警戒感や中国の生成AI技術の脅威、国内長期金利の上昇など、多くの材料がありましたが、全体的には安定した動きを見せ、日経平均は前月末比-0.8%、東証株価指数（TOPIX）は同+0.1%となりました。新年の日本株式市場は、年末年始に国内市場が休場の間、米株式市場が軟調な動きを見せたことが影響し、続落でのスタートとなりました。加えて、国内長期金利が13年半ぶりの水準に上昇したことや、米国雇用統計の発表を控えて持ち高調整が広がる中で、市場全体は軟調な動きとなりました。中旬は、米政府によるAI向け先端半導体の輸出規制見直し案が発表されたことや、米雇用統計が市場予想を上回り、米長期金利が上昇したことを受け、半導体関連株を中心に下落しました。その後もトランプ次期大統領就任式や日銀金融政策決定会合を控え手控えムードが広がり、上値の重い展開となりました。月末にかけて、トランプ米大統領が対中関税の即時発動を見送ったものの、今後の貿易政策に対する警戒感が残り、市場には様子見ムードが広がりました。米株式市場ではAI開発への投資期待が高まり、関連株には追い風が吹く一方で、中国の低コスト生成AIが米IT企業の優位性を脅かすとの懸念から、半導体・AI関連株に売りが膨らみました。市場は日米の金融政策決定会合後、ファンダメンタルズに焦点を移すとともに、国内では好業績銘柄への買いが広がり、投資家心理が改善の兆しを見せる中、月末を迎えています。当月のポートフォリオのリターンはマイナスとなりました。当月は米国における山火事の影響が懸念された損害保険銘柄の株価が軟調に推移しました。しかしながら、同社のリスク管理体制に鑑みれば、過度な懸念は不要であると考えています。一方で、日銀による追加利上げ期待を背景に、メガバンク銘柄の株価は堅調に推移しました。同社を含め、「金利のある世界」の恩恵を受ける銘柄には引き続き注目しています。また、好調な月次売上高の成長が続く専門店銘柄がパフォーマンスに貢献しました。インフレ環境下においては、同社が手掛けるような、値段が手頃で高品質な製品の需要は底堅く推移することが見込まれます。ITサービス銘柄は、国内における収益性改善の取り組みや社会インフラ関連需要の拡大を背景に、市場想定を大きく上回る決算を発表したことが好感されました。

今月の投資行動は小幅なものに留まり、新規投資銘柄及び売却銘柄はありませんでした。今後も引き続き、企業の成長性に着目して幅広く投資機会を探り、企業訪問を中心に徹底した調査・分析を行い、個別銘柄を選別するボトムアップ・アプローチによるアクティブ運用を行ってまいります。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
 【資産分類】日本株式  
 【運用方針】  
 日本の上場および店頭公開企業を主要投資対象とし、長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。企業訪問を含めた「ボトムアップリサーチ」をチームによって一貫して行い、投資銘柄を厳選します。  
 【対象投資信託】  
 ブラックロック 日本株式オープン

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1	1.7%
有価証券等		
ブラックロック 日本株式オープン	115	98.3%
その他	—	—
資産合計	117	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	117	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	97.65	—
2024年 1月31日	132.93	6.35%
2月29日	142.91	7.50%
3月31日	149.39	4.53%
4月30日	146.30	-2.06%
5月31日	151.36	3.46%
6月30日	153.91	1.68%
7月31日	151.18	-1.77%
8月31日	145.74	-3.59%
9月30日	148.71	2.03%
10月31日	145.72	-2.01%
11月30日	146.48	0.52%
12月31日	153.53	4.82%
2025年 1月31日	150.35	-2.08%
3ヶ月変化率		3.18%
6ヶ月変化率		-0.55%
1年変化率		13.10%
3年変化率		53.97%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 対象投資信託について

### ブラックロック日本株式オープンの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン  
 【運用対象】日本株式  
 【ベンチマーク】東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2025.1末現在)

市場	構成比
東証プライム	97.1%
東証スタンダード	1.0%
キャッシュ等	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位10業種構成比 (2025.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	20.8%
2 輸送用機器	12.8%
3 機械	8.0%
4 化学	7.3%
5 銀行業	6.8%
6 医薬品	4.9%
7 不動産業	4.6%
8 小売業	4.6%
9 サービス業	4.4%
10 建設業	3.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	4.9%
2 ソニーグループ	電気機器	4.7%
3 日立	電気機器	3.9%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.2%
6 東京海上HD	保険業	3.0%
7 三井不動産	不動産業	2.7%
8 任天堂	その他製品	2.5%
9 キーエンス	電気機器	2.5%
10 第一三共	医薬品	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 56)

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



# フィデリティ日本株 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の株式を主要投資対象とし、長期的にベンチマークを上回る運用成果をあげることがを目標とします。個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行います。  
【対象投資信託】  
フィデリティ・日本成長株・ファンド

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	476	3.0%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ファンド	15,240	97.0%
その他	—	—
資産合計	15,716	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	15,716	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	194.10	—
2024年 1月31日	230.59	4.77%
2月29日	240.11	4.13%
3月31日	247.40	3.04%
4月30日	241.01	-2.58%
5月31日	243.42	1.00%
6月30日	250.17	2.77%
7月31日	246.69	-1.39%
8月31日	237.73	-3.63%
9月30日	245.04	3.07%
10月31日	238.03	-2.86%
11月30日	235.08	-1.24%
12月31日	245.61	4.48%
2025年 1月31日	241.04	-1.86%
3ヶ月変化率		1.27%
6ヶ月変化率		-2.29%
1年変化率		4.53%
3年変化率		24.18%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 対象投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドの基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX (東証株価指数、配当金込)

### 運用状況

#### 市場別構成比 (2024.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.2%
東証スタンダード	1.6%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### 上位5業種構成比(2024.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.2%
2 銀行業	9.8%
3 輸送用機器	8.0%
4 小売業	6.5%
5 サービス業	6.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### 組入上位10銘柄 (2024.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	4.5%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.4%
3 日立製作所	電気機器	4.0%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.5%
5 リクルートホールディングス	サービス業	3.4%
6 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
7 キーエンス	電気機器	2.9%
8 東京海上ホールディングス	保険業	2.7%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 KDDI	情報・通信業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 170)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

当月の東京株式市場は、トランプ米政権による関税強化策や先端半導体の需要減速への警戒感などから、上値が重い展開となりました。トランプ政権の政策不透明感や内外金利の上昇が投資家心理を圧迫する中、日銀正副総裁の発言を受けて次回金融政策決定会合での利上げ観測が高まり、円高が進行したことなどから、半月は過ぎまでは株価の軟調な推移が続きました。トランプ氏が米大統領に就任した後、対中関税の即時発動が見送られたこと、また米国で人工知能(AI)を規制する方針が転換され、AI開発の巨額投資が期待されたことなどを背景として、株価は上昇に転じました。日銀による利上げの影響は限定的となる一方、中国の新興企業が低コストで高性能な生成AIモデルを開発したことが報道されると、先端半導体の需要減速が警戒され、半導体関連株が売られる展開となりましたが、月末にかけては決算発表が本格化する中で好業績銘柄への買いが入り、底堅い推移となりました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+0.14%、日経平均株価は-0.81%でした。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# インターナショナル株式グロース (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】外国株式

【運用方針】

主に日本を除く世界の証券取引所上場および店頭公開企業を投資対象とし、ベンチマークを上回るパフォーマンスを目指します。為替ヘッジは原則行いません。

【対象投資信託】

年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	205.17	-
2024年 1月31日	266.17	8.65%
2月29日	286.68	7.71%
3月31日	294.74	2.81%
4月30日	289.85	-1.66%
5月31日	306.07	5.60%
6月30日	319.31	4.32%
7月31日	294.10	-7.89%
8月31日	289.89	-1.43%
9月30日	300.25	3.57%
10月31日	319.83	6.52%
11月30日	321.50	0.52%
12月31日	342.10	6.41%
2025年 1月31日	337.31	-1.40%
3ヶ月変化率		5.47%
6ヶ月変化率		14.69%
1年変化率		26.73%
3年変化率		64.41%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	694	2.2%
有価証券等		
年金積立 インターナショナル・グロース・ファンド	30,374	97.8%
その他	-	-
資産合計	31,068	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	31,068	100.0%

## 対象投資信託について

### 年金積立 インターナショナル・グロース・ファンドの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

(投資一任)ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

【運用対象】日本を除く世界主要国の株式等

【ベンチマーク】MSCI-KOKUSAIインデックス(税引後配当込み、円ヘッジなし・円ベース)

### 運用状況

#### ■株式国別配分上位 (2025.1末現在)

国名	ファンドのウェイト
1 アメリカ	70.00%
2 オランダ	5.15%
3 アイルランド	3.34%
4 フランス	3.08%
5 カナダ	2.32%
6 ドイツ	2.28%
7 台湾	2.08%
8 ルクセンブルグ	1.55%
9 中国	1.54%
10 イギリス	1.36%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	国名	ファンドのウェイト
1 NVIDIA CORP	アメリカ	7.08%
2 AMAZON.COM INC	アメリカ	6.89%
3 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	5.24%
4 APPLE INC	アメリカ	4.80%
5 MICROSOFT CORP	アメリカ	4.69%
6 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	3.42%
7 ELI LILLY & CO	アメリカ	2.96%
8 BROADCOM INC	アメリカ	2.77%
9 NETFLIX INC	アメリカ	2.50%
10 MASTERCARD INC - A	アメリカ	2.33%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 51)

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# アライアンスグローバル株式 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
【資産分類】外国株式  
【運用方針】  
日本を含む世界各国の株式に投資いたします。成長の可能性が高い「産業セクター」を選定し、グローバルな視点で調査・分析し、成長性の高い銘柄に投資し、長期的な運用成果を目指します。為替ヘッジは原則行いません。  
【対象投資信託】  
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金つみたて向け）

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	175.97	-
2024年 1月31日	217.47	4.32%
2月29日	229.13	5.36%
3月31日	232.59	1.51%
4月30日	227.46	-2.20%
5月31日	238.82	5.00%
6月30日	246.72	3.30%
7月31日	239.33	-2.99%
8月31日	232.20	-2.98%
9月30日	238.44	2.69%
10月31日	247.71	3.89%
11月30日	243.00	-1.90%
12月31日	244.86	0.77%
2025年 1月31日	242.95	-0.78%
3ヶ月変化率		-1.92%
6ヶ月変化率		1.52%
1年変化率		11.72%
3年変化率		38.07%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	340	2.7%
有価証券等		
アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)	12,380	97.3%
その他	-	-
資産合計	12,720	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	12,720	100.0%

## 対象投資信託について

### アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ（年金つみたて向け）の基本情報

【運用会社】アライアンス・バーンスタイン  
【運用対象】日本を含む世界主要国の株式  
【ベンチマーク】MSCI-WORLD（円換算）

### 運用状況

#### ■株式国別配分上位 (2025.1末現在)

国名	組入比率
アメリカ	58.4%
ブラジル	6.4%
イギリス	6.0%
日本	3.9%
アイルランド	3.9%
スイス	3.7%
カナダ	3.5%
台湾	3.2%
オランダ	2.9%
香港	1.9%

※実質組入比率を記載しています。

#### ■業種別内訳 (2025.1末現在)

業種	組入比率
情報技術	30.3%
資本財・サービス	19.8%
金融	19.1%
ヘルスケア	15.1%
一般消費財・サービス	6.6%
公益事業	3.6%
エネルギー	2.0%
生活必需品	1.3%

※実質組入比率を記載しています。

#### ■株式組入上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	国名	組入比率
1 マイクロソフト	アメリカ	3.6%
2 台湾セミコンダクター	台湾	3.2%
3 フレックス	アメリカ	3.0%
4 VISA	アメリカ	2.8%
5 ロンドン証券取引所グループ	イギリス	2.7%
6 セールスフォース	アメリカ	2.6%
7 メルカドリブレ	ブラジル	2.6%
8 ファイザー	アメリカ	2.6%
9 オン・ホールディング	スイス	2.5%
10 ウェイスト・マネジメント	アメリカ	2.5%

※実質組入比率を記載しています。

(銘柄数 51)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.1末現在)

2025年1月の世界の株式市場は前月末比で上昇しました（米ドルベース）。米国株式市場は、2024年12月の米消費者物価指数（CPI）でコア指数の伸びが鈍化したほか、1月20日に就任したトランプ大統領が署名した大統領令が予想の範囲内だったことからインフレ懸念が後退し、上昇しました。銀行をはじめとして好調な企業決算の発表が相次いだことも、投資家の買い安心感を誘いました。月末にかけては、中国のスタートアップ企業ディープテックの台頭で米ハイテク企業の優位性が揺らぐとの懸念から、やや軟化しました。欧州株式市場は、欧州中央銀行（ECB）が1月の会合で利下げを決定するとの観測が広がったことが下支え要因となったほか、米トランプ政権の関税政策が懸念されていたほど厳しい内容ではなかったことが安心感を誘い、上昇しました。独仏の政局不安はあるものの、企業業績の改善も期待され、堅調な地合いを継続しました。日本株式市場は、月半ばにかけては、日銀による利上げ観測もあって軟調に推移しました。その後は、米トランプ大統領が就任初日に関税政策を発動しなかったことが安心感を誘い、反発しました。月末は、ディープテック・ショックから半導体関連株が売られました。

・当資料は、アグレ（積立型変額年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ（積立型変額年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって価値が変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

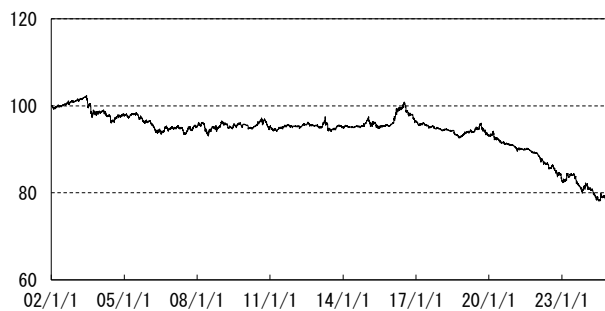
# 日本債券インデックス (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日  
 【資産分類】日本債券  
 【運用方針】  
 国内の債券市場全体の動きを捉えるファンドです。NOMURA-BPI総合に連動した投資成果を目指します。  
 【対象投資信託】  
 インデックスファンド日本債券 (1年決算型)

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	88.25	-
2024年 1月31日	81.00	-0.96%
2月29日	81.08	0.10%
3月31日	80.90	-0.22%
4月30日	79.48	-1.76%
5月31日	78.46	-1.28%
6月30日	78.26	-0.26%
7月31日	78.59	0.42%
8月31日	79.03	0.56%
9月30日	79.23	0.25%
10月31日	78.48	-0.95%
11月30日	77.88	-0.77%
12月31日	77.69	-0.24%
2025年 1月31日	77.23	-0.59%
3ヶ月変化率		-1.59%
6ヶ月変化率		-1.73%
1年変化率		-4.65%
3年変化率		-12.49%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	2	2.1%
有価証券等		
インデックスファンド		
日本債券 (1年決算型)	96	97.9%
その他	-	-
資産合計	98	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	98	100.0%

## 対象投資信託について

### インデックスファンド日本債券 (1年決算型) の基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント  
 【運用対象】日本の公社債  
 【ベンチマーク】NOMURA-BPI総合

### 運用状況

#### ■公社債残存別構成比 (2025.1末現在)

残存期間	構成比
1年未満	0.90%
1～3年	20.79%
3～7年	28.15%
7～10年	18.62%
10年以上	31.24%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■公社債種別構成比 (2025.1末現在)

種別	構成比
国債	87.47%
特殊債 (政府保証債等)	3.19%
地方債	4.57%
金融債	0.35%
事業債	4.12%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■公社債上位10銘柄 (2025.1末現在)

銘柄	構成比	残存年数
1 第344回利付国債 (10年)	1.24%	1.64年
2 第347回利付国債 (10年)	1.20%	2.38年
3 第345回利付国債 (10年)	1.17%	1.88年
4 第343回利付国債 (10年)	1.15%	1.38年
5 第342回利付国債 (10年)	1.12%	1.13年
6 第349回利付国債 (10年)	1.04%	2.88年
7 第360回利付国債 (10年)	0.99%	5.64年
8 第357回利付国債 (10年)	0.97%	4.89年
9 第350回利付国債 (10年)	0.95%	3.13年
10 第348回利付国債 (10年)	0.88%	2.64年

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 337)

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# インターナショナル債券 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

主として日本を除く先進各国の政府、政府機関等の発行する債券を中心に分散投資を行い、国内債より相対的に高い金利収入を確保するとともに債券価格の上昇による収益の獲得を狙います。為替ヘッジは原則行いません。

【対象投資信託】

年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンド

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	134.31	-
2024年 1月31日	141.18	0.20%
2月29日	142.23	0.74%
3月31日	144.50	1.59%
4月30日	143.58	-0.63%
5月31日	146.14	1.78%
6月30日	150.21	2.79%
7月31日	146.40	-2.54%
8月31日	142.00	-3.01%
9月30日	143.95	1.37%
10月31日	144.91	0.67%
11月30日	142.74	-1.50%
12月31日	145.29	1.79%
2025年 1月31日	141.96	-2.29%
3ヶ月変化率		-2.04%
6ヶ月変化率		-3.03%
1年変化率		0.55%
3年変化率		5.70%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	598	2.6%
有価証券等		
年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンド	22,766	97.4%
その他	-	-
資産合計	23,365	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	23,365	100.0%

## 対象投資信託について

### 年金積立 インターナショナル・ボンド・ファンドの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント

(投資一任)日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド

【運用対象】日本を除く世界主要国の公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

### 運用状況

#### ■公社債残存別構成比

(2025.1末現在)

残存期間	構成比
1年未満	4.92%
1~3年	16.46%
3~7年	24.44%
7~10年	19.57%
10年以上	32.57%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■公社債通貨構成比

(2025.1末現在)

種別	構成比
アメリカドル	48.29%
ユーロ	30.26%
イギリスポンド	8.09%
ポーランドズロチ	3.86%
ニュージーランドドル	2.77%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■公社債組入上位10銘柄

(2025.1末現在)

銘柄	種別	構成比	通貨	残存年数
1 US TREASURY N/B	国債	12.71%	アメリカドル	6.79年
2 US TREASURY N/B	国債	9.27%	アメリカドル	2.04年
3 US TREASURY N/B	国債	6.50%	アメリカドル	1.04年
4 US TREASURY N/B	国債	6.14%	アメリカドル	16.05年
5 FRANCE (GOVT OF)	国債	5.41%	ユーロ	8.32年
6 BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	国債	5.28%	ユーロ	3.25年
7 UK TREASURY	国債	4.39%	イギリスポンド	13.86年
8 BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	国債	4.17%	ユーロ	13.29年
9 US TREASURY N/B	国債	3.79%	アメリカドル	0.50年
10 US TREASURY N/B	国債	3.75%	アメリカドル	9.54年

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 36)

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】短期金融商品

【運用方針】

円建の格付の高い短期金融資産を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【対象投資信託】

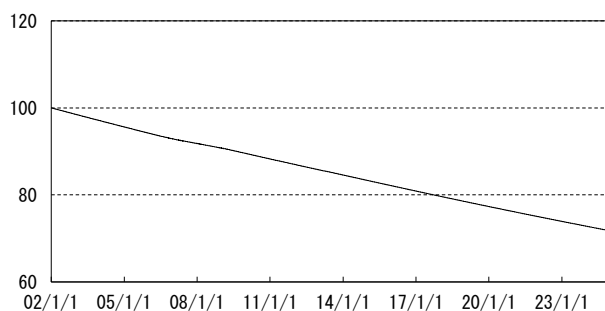
特に定めません

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	16,917	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	16,917	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	16,917	100.0%

### ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	74.94	—
2024年 1月31日	72.72	-0.13%
2月29日	72.64	-0.12%
3月31日	72.54	-0.13%
4月30日	72.45	-0.12%
5月31日	72.36	-0.13%
6月30日	72.27	-0.12%
7月31日	72.18	-0.13%
8月31日	72.09	-0.13%
9月30日	72.00	-0.12%
10月31日	71.91	-0.13%
11月30日	71.82	-0.12%
12月31日	71.73	-0.13%
2025年 1月31日	71.64	-0.13%
3ヶ月変化率		-0.38%
6ヶ月変化率		-0.75%
1年変化率		-1.49%
3年変化率		-4.40%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 米ドル短期 (2025年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2002年1月1日

【資産分類】短期金融商品

【運用方針】

主に米ドル建の格付の高い短期金融資産に投資することにより元本を維持し、流動性を保ちながら米ドルベースで安定した収益の獲得を目指します。

【対象投資信託】

米ドルMMF

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	484	2.1%
有価証券等		
ニッコウ・マネー・マーケット・ファンド (米ドルMMF)	24,739	108.3%
その他	—	—
資産合計	25,223	110.4%
負債合計	2,380	10.4%
純資産総額	22,843	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 1月31日	80.75	—
2024年 1月31日	105.44	4.21%
2月29日	107.85	2.28%
3月31日	108.59	0.69%
4月30日	112.67	3.76%
5月31日	112.84	0.15%
6月30日	116.08	2.86%
7月31日	110.45	-4.84%
8月31日	105.38	-4.59%
9月30日	104.17	-1.15%
10月31日	112.27	7.78%
11月30日	110.40	-1.67%
12月31日	115.97	5.05%
2025年 1月31日	113.51	-2.12%
3ヶ月変化率		1.11%
6ヶ月変化率		2.77%
1年変化率		7.66%
3年変化率		40.58%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 対象投資信託について

### 米ドルMMFの基本情報

【運用会社】日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッド

【運用対象】米ドル建公社債

【ベンチマーク】特に定めなし

・当資料は、アグレ(積立型変額年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・アグレ(積立型変額年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■積立期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.5%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率2.2%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.1の目次をご覧ください。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

### ■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
契約維持費	契約日から10年未満で、かつ月単位の契約応当日前日の積立金額が150万円未満の契約の場合	毎月400円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.5%
継続管理費 (払済年金保険に 変更された場合)	月単位の契約応当日前日の積立金額が50万円未満の契約の場合	毎月600円
	月単位の契約応当日前日の積立金額が50万円以上150万円未満の契約の場合	毎月400円

### ■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

## ご注意いただきたい事項

- 「アグレ(積立型変額年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額年金保険)です。
- 「アグレ(積立型変額年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

<b>【募集代理店】</b> <b>SMBC日興証券株式会社</b>	<b>【引受保険会社】</b> <b>東京海上日動あんしん生命保険株式会社</b> ホームページ <a href="https://www.tmn-anshin.co.jp/">https://www.tmn-anshin.co.jp/</a>  ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ <b>☎ 0120-155-730</b> 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------------------------------------	--